

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	地理学B		
英文授業科目名	Geography B		
開講年度	2009年度	開講年次	1(2)年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	総合文化科目-人文・社会科学科目-		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	三宅 紀治		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
jinbunyoumu@bunka.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>日本の都市は、これまで様々な歴史的・社会的背景のもとで発達・変化してきたが、本来の都市機能を発揮している例ばかりでなく、都市ごとのあるいは都市共通の課題も存在する。この授業ではそれらを理解、解決するために、歴史的背景を含めて現在の都市がどのような状況にあり、またどのような課題をもっているのかを主題として取り上げる。必要に応じて関連海外情報も導入する。</p> <p>私達が都市に関わる様々な問題を考える上で、自分自身が判断できる「基礎知識を身につける」ことを達成目標とする。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
授業中に配布する資料のみ

電気通信大学 平成21年度シラバス

【授業内容とその進め方】

- (1)イントロダクション：授業の概要や位置づけなどを説明する。
- (2)都市の土地形成：過去の長期にわたる気候／地形変化を全体的に概説する。続いて江戸臨海部の地形変遷や、江戸時代を主とした治水対策を述べるほか、江戸から現在までの臨海部の土地形成の目的／方法について江戸の大火など当時の社会的背景を含めて解説する。資料として古地図なども経年的に引用したい。
- (3)身近な都市空間と課題：地域の活性化や魅力あるまちづくりを目的に、少子高齢化も考慮した都市空間の改善策が講じられてきている。都市（まち）に対する一般のイメージ、まちの個性／共通課題を述べ、個性を活かしたまちづくりの例をあげる。また、最近は都市空間においても自然環境の復元／創成が進み、より好ましい環境が比較的手近に作られつつある。さらに、わが国には歴史的に意義のある建造物が多くこれらを活かしてまちづくりを行っている地域もある。これらも含め現地に行けば誰でも目にすることができる身近な都市空間と課題について事例を取り上げ解説する。
- (4)我が国の社会資本の現況と課題：社会資本は基本的に公的予算によって作られるため、相当な社会的負担になってきているが、これまでわが国の発展を支えてきたことも確かである。このように都市の発展に欠かせない社会資本整備に関して、我が国の地理的条件、整備の意義、歴史、先進諸外国との比較や国際競争力からみた我が国の整備状況、今後の社会資本のあり方などについて、具体的な事例を取り上げて解説したい。
- (5)都市活動に伴う負の環境問題と対応：現在の都市がかかえる過去も含めた負の環境問題として、都市活動の結果発生する廃棄物処理、ヒートアイランドなどの環境負荷のほか、負の遺産として課題を残すかつての広域的な地盤沈下、地下水・土壌汚染などについて対応方法を含めて説明する。

【授業時間外の学習（予習・復習等）】

特に定めない

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

・評価方法：授業内容から授業中に3回のレポート作成、ならびに12月に提示するテーマについて1回の課題レポートの提出を課し、次のように総合評価する。

成績評価 = (授業中レポートの評価点 × 50%) + (課題レポート × 50%)

ただし、通常の出席を考慮する可能性もある。

・評価基準：授業中レポートは授業内容の理解と自らの意見提示が求められる。また課題レポートは提出が不可欠であり、出題主旨を理解した上でのレポート内容の的確性が合格の最低基準になる。課題レポートの提出のみあるいは授業中レポートのみでは合格しない。

【オフィスアワー：授業相談】

なし

電気通信大学 平成21年度シラバス

【学生へのメッセージ】
なし

【その他】
なし